

2023年 第6週 (2月6日～2月12日)の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
- 3 インフルエンザについて
- 4 忘れないで！結核。咳症状は、新型コロナだけではありません
- 5 梅毒について

1 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は今週9,581人（先週13,983人）で、対先週比0.7倍となり、減少が続いています。年齢別においては、10歳未満が17%と最も多く、40歳代が15%、30歳代が14%となっており、30歳代以下の若い世代の占める割合が54%となっています。

インフルエンザの定点あたりの患者数は増加傾向が続いています。感染拡大を防ぐためにも引き続き基本的な感染対策をお願いします。

現時点は「**感染拡大期**」です。

感染状況と一人ひとりの重症化リスク等に応じた外来受診・療養にご協力ください。

- 重症化リスクの高い方（65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など）・小学生以下の子ども

発熱などの体調不良時には、まずはかかりつけ医又は発熱外来（発熱等診療・検査医療機関）に相談の上、受診してください。

- 上記以外の重症化リスクの低い方

発熱などの体調不良時には、まずはご自身で新型コロナ抗原検査キットでの検査にご協力をお願いします。

（陽性判定となった場合）

兵庫県陽性者登録センター（お住まいが神戸市、西宮市の方は登録先が異なります）に登録し、自主療養のご協力をお願いします。

詳細はこちら [兵庫県／症状が軽く低リスクの方への自己検査による療養のお願い](#)

<新型コロナウイルス感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症患者の発生状況](#)

[新型コロナの陽性者・濃厚接触者の方にお問い合わせのこと](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス \(COVID-19\) 関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況 (新型コロナウイルス以外のもの)

- (1) 管内の全数把握感染症 (すべての医療機関から報告を求める感染症)
第6週は、結核1件、梅毒1件の発生がありました。
- (2) 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症)

(2023年6週) ※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
13	4.3	-	-	-	-	-	-	17	8.5	-	-	5	2.5	-	-	1	0.5

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、インフルエンザ、感染性胃腸炎、手足口病ともに発生が増加しています。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

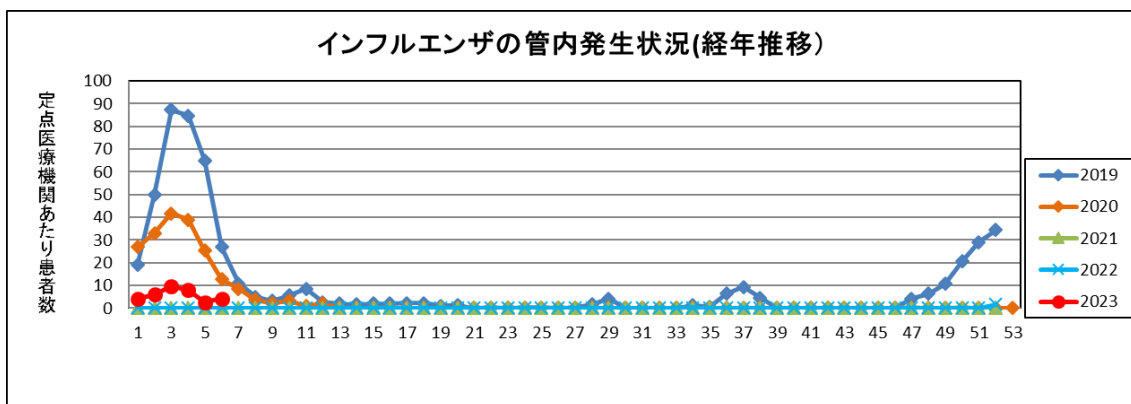
[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

[手足口病とは](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

3 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週4.3人(先週2.6人)とやや増加していますが県内の定点あたり患者数は、今週15.63(先週16.96)と減少しています。県下17保健所では、神戸市、尼崎市、姫路市、西宮市、明石市、芦屋、伊丹、宝塚、加古川、豊岡保健所管内が注意報レベル基準値(定点あたり患者数10.0人)を超えています。感染防止対策は新型コロナ対策と共通していますので、感染拡大を防ぐためにも引き続き基本的な感染対策をお願いします。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

インフルエンザ

4 忘れないで！結核。咳症状は、新型コロナだけではありません

- ・管内の結核の発生は、既に昨年度の倍以上の件数となっています。
患者の6割は75歳以上の高齢者です。
- ・結核は、高齢者が多く発症する感染症です。結核は、症状が風邪に似て目立たないことも多く、本人が気づかないまま進行してしまうこともあります。
早期発見のために、以下の症状あれば**早目の受診**が大切です。

- ・咳、痰、微熱、体のだるさが2週間以上続いている
- ・体重が減ってきた
- ・なんとなく食欲がない
- ・近頃、寝汗をかいている

高齢の方は、症状がなくても毎年、胸部レントゲン検査を受けましょう

【相談・問い合わせ先】朝来健康福祉事務所 電話 672-6870

◆参考

介護スタッフのための結核基礎知識(朝来健康福祉事務所作成)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/documents/kekakukisochishiki.pdf>

厚生労働省 結核ページ

結核(BCGワクチン)

5 梅毒について

今週、管内では1件の発生がありました。県内では、今週9人(先週7人)の報告があり、今年の蓄積患者数は43人となりました。近年、国内での梅毒の感染報告が高い水準で推移しています。梅毒は過去の病気ではありません。ひとりひとりが正しい知識を持って予防することが必要です。感染しているかどうかを症状だけで判断することは難しいため、気になるときは血液検査を受けましょう。保健所では、検査は無料・匿名で受けられます。

<検査問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

メ - ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 3月実施日 3月16日(木)

◆兵庫県ホームページ

梅毒について

◆国立感染症研究所ホームページ

梅毒とは